

潮汐干満の差は海灣の位置(潮汐の押し寄
方は差)・地形(入口の狭い海灣は小。中)・海底
の深淺(深いのは差が小)等によつて異なる。
朝鮮の西岸、有明海等は甚だ大で、仁
川附近は十米にも及ぶ。最も小なのは
日本海の沿岸で平均〇・三米に過ぎな
い。

潮汐干満の差が適度であることは貝類・
海藻等の養殖や鹽田の築造に適するが、
過大の時は船舶の出入・碇泊を妨げる。
三池港や仁川港は閘門式の築港を施し
てその缺點を補つてゐる。

我が近海の著名なる潮流につきて記
せ。

海峽に於ては潮汐干満のために海水が
勢よく流動する、これを潮流といふ。我が國でこの現象の著しい地は瀬戸内海の咽喉にあたる鳴門海峽・下關海峽
や内海の中にある來島海峽・音戸瀬戸等で、中でも鳴門海峽は最も有名で一時間十八軒の流速を持つことがある。

我が國沿岸に於ける潮汐干満の差の著しい地方を列舉し、その地方の海岸地形を略述せよ。(廣高師)



目 海 底

我が國の近海に於ける海流を圖示し、且つ其の本邦に及ぼす影響を述べよ。(高檢・山形高・東外語)

我が近海には寒暖二種の海流がある。日本海流(黒潮)・
對馬海流は暖流で、千島海流(親潮)・リマン海流・樺太海
流は寒流である。

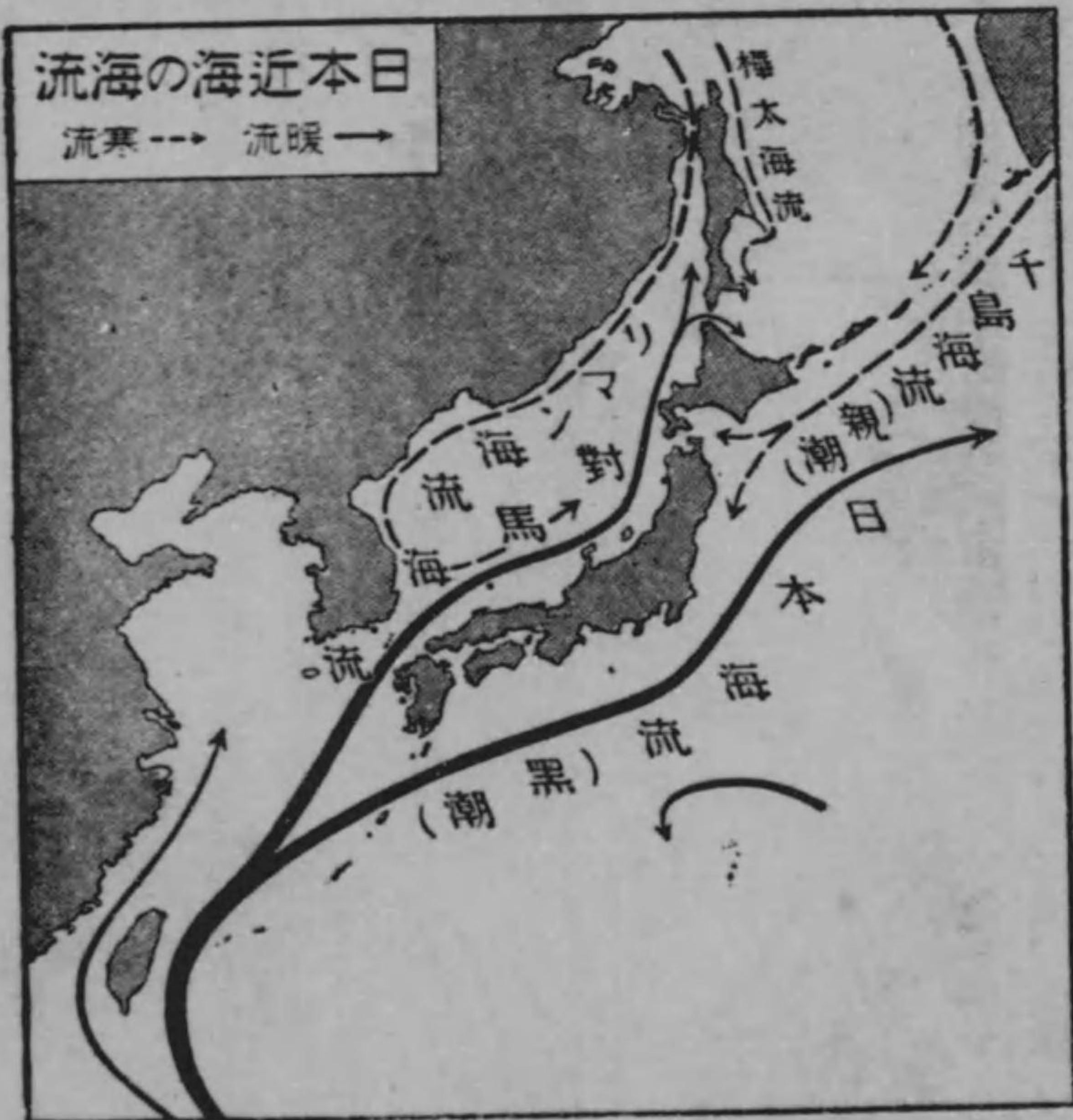
海流の影響

(一)氣候に與へる影響

(イ)暖流の通ずる地方は風向と關係して氣温を高め、
雨雪を多からしめる。例へば日本暖流が夏季の南東
季節風と關係して表日本の氣温を高め、雨量を多か
らしめ、對馬暖流が冬季の北西季節風と作用して裏
日本の降雪を多からしめ、交通を妨げてゐる。

(ロ)寒流の洗ふ地方は氣温が低く雨量が少い。例へば
千島海流(親潮)の洗ふ北海道・奥羽の東岸や樺太海
流の洗ふ樺太東岸、リマン海流の通ずる朝鮮東岸は
寒冷である。

(ハ)寒暖兩流の合する地方には暖氣流と寒氣流とが合
して屢濃霧を生じ交通を妨げる。北海道の東南、奥



羽の東岸、朝鮮の西南の濃霧はその好例である。

- (二)水産業に與へる影響
 - (イ)暖流には鯉・鱈・鮭の如き暖海性の魚族が集る。
 - (ロ)寒流には鱈・鱈・鮭等の寒海性の魚族及び各種の海獸が好んで棲息する。
- かくて我が國の近海が世界三大漁場の一となつた一原因を與へてゐる。

基本問題

日本海流・千島海流は我が國の氣候に如何なる關係を有するや。(商卒檢・廣高師・普文) (基本問題参照)

親潮・黒潮に就きて記せ。(專檢・各高) (基本問題参照)

本邦近海の海流を圖示し、之が水産業に及ぼす影響を述べよ。(東高師) (基本問題参照)

我が近海を流るゝ寒流を問ふ。(陸士) (基本問題参照)

第三章 氣候

基本問題

我が國氣候の概要を記せ。(鐵道)

- (一)氣溫 我が國の大部分は溫帶に位し、且四面海に圍まれて海洋の調和を受け、海洋性氣候の特色を呈するが、南北に細長く略、緯度二九度に互るため北方の樺太は冷涼、南方の琉球・臺灣は亞熱帶で冬も高温、朝鮮の北方は大陸性を呈する。
- (二)雨量と風 夏季アジア大陸の内部は温度高く、低氣壓をなすが、太平洋上はそれに比して高氣壓であるが故に風は南東風が吹き、冬季はこれに反してアジア大陸内部が冷却して高氣壓となるがため北西風が吹く。かく

夏秋の交我が國に襲來する颱風につき知るところを述べよ。

(海兵・海機)

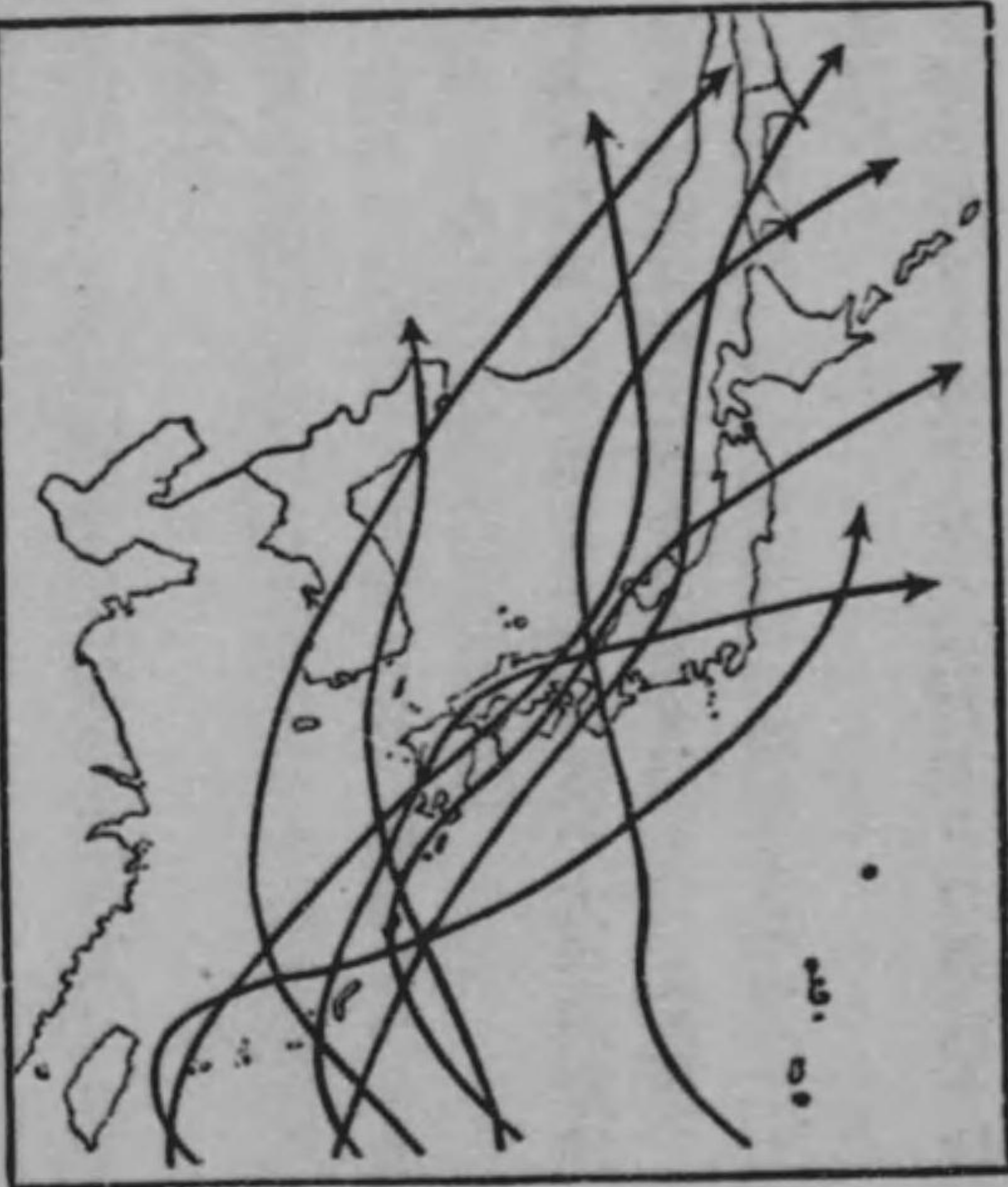
夏秋の交即ち所謂二百十日・二百二十日前後にフィリピン群島東方海上に發生した颶風が我が國乃至支那を襲ふものを颱風と稱し、猛烈なる暴風雨で、農作物・人畜・船舶等に大被害を與へることが多い。

梅雨の生ずる理由を問ふ。(農卒檢)

毎年六月頃支那揚子江流域に生ずる低氣壓が、漸次東方に進行し、東支那海を渡つて本州の西部に達し、更に東に進まんとするけれども、丁度其の頃には北太平洋上に高氣壓があつて低氣壓の東進を妨げる。故に低氣壓は長く本州に停滞し、爲に連日雨を降らす。これが即ち梅雨である。

我が國に於ける雨量の分布を問ふ。(廣高師・專檢)

雨量は一般に高緯度程減じ、樺太・北海道・北鮮の如きは最も少い。同じ緯度でも地形と風向によつて雨量に差を





生じ、一般に季節風の影響のために表日本は夏に雨量が多く、裏日本は冬の降雪量が大きい。本州日本海岸・東海地方・紀伊半島・南四国・南九州・琉球・臺灣等が一般に多い。瀬戸内海・本州中部山間盆地は周囲が山で圍まれてゐるため内地に於ける寡雨地帯である。

關係問題

日本列島の冬季と夏季とに於ける風位の變化につきて記せ(陸士)
 (基本問題「我が國氣候の概要を記せ」参照)
 季節風とは何ぞ。(専檢)

(基本問題「我が國氣候の概要を記せ(11)」参照)
 季節風交替期に於ける天候につきて記せ(廣高師)
 季節風の交替する夏秋の候の颱風につきて説明すること。(基本問題参照)
 我が國の日本海岸地方が同緯度の太平洋岸地方より一般に積雪多き理由を問ふ。(廣高師)
 (基本問題「我が國氣候の概要を記せ(11)」参照)
 我が國に於ける表日本と裏日本との氣候を比

較せよ。(専檢)

裏日本	(1)冬は北西季節風が卓越して雪が多い。 (2)冬は表日本より寒冷である。
表日本	(1)夏は南東季節風が卓越して降雨が多い。 (2)冬は裏日本より温暖である。

奥羽地方より九州に互れる一般的氣候を述べ、且海流と夏季及び冬季に海洋より吹き來たる風とが其の氣候に如何なる影響を與ふるかを説明せよ。(海機)

(1)奥羽より九州に互る地方は一般的に氣候温和で雨量も亦豊富である。しかし緯度的變化が現れて奥羽は關東以西よりも稍寒冷である。

(2)夏季は南東季節風が卓越し、日本海流上の暖濕氣を太平洋斜面に齎らすために關東以西の同斜面は高温・多濕である。但し奥羽地方は千島寒流上の寒氣を齎らすために同緯度の日本海斜面よりも低温である。冬季は北西季節風が卓越し、對馬海流上の濕氣を齎らすために日本海斜面は降雪が多い。

我が國に於て (イ)冬季に比して夏季特に降水量の多き地方と (ロ)夏季に比して冬季特に降水量の多き地方を挙げよ。(廣高師)

次の記述に誤あらば正し、又括弧内の不要の部分はこれを消せ。
 降水量は(表日本の方が裏日本の方が)多い。これは(日照・地形・氣温・蒸發・風)の影響である。(東高師)

「裏日本の方が」、「日照」を消す。

裏日本の冬季に於ける交通と氣候との關係を記せ。

(イ)裏日本の冬季は北西季節風が烈しく、且時に吹雪を伴つた強風が吹くために海上の航行を不可能ならしめ、

(二)農法 耕地面積が狭く、人口が稠密であるから農法は小農法で、一戸當りの耕地は非常に少いが、農法が進歩してゐて二毛作の行はれる所が多いから、收穫率は大きい。臺灣・北海道では新式の農具を用ひて大農法が稍行はれてゐる。

(三)農産物

(イ)米 米は國民の常食物として最も重要なもので、樺太・千島以外は氣温と季節風に恵まれて到る所に産し、一般に裏日本に餘剰があるから移出される。平年作内地一億一千万石、臺灣千三百万石、朝鮮三千万石を産し、内地の不足年平均千五百万石は朝鮮・臺灣から移入し、時に印度支那から輸入する程度である。

内地……新潟・福岡・兵庫・千葉・愛知・茨城・山形・秋田・岡山等々。

主要産地 朝鮮、臺灣。

(ロ)麥類 我が國は一般に雨が多過ぎるが、氣温が適當であるから麥は奥羽北部・北海道・樺太・朝鮮北部を除いては、冬裏作として畑にも水田にも耕作されるものが多い。裸麥……暖い西日本が主産地。

燕麥……寒冷な北海道・樺太・北朝鮮に適する。

大麥・小麥……最も廣く分布するが、概して氣候の乾燥した畑地の多い關東平野・瀬戸内海沿岸・筑紫平野・朝鮮等に多い。

(ハ)豆類 大豆・小豆・豌豆等の種類があつて、畑地の多い北日本・九州・朝鮮に多く産する。

(ニ)馬鈴薯と甘藷 共に關東地方に多く産するが、馬鈴薯は北するに従つて冷涼となるので多く産し、奥羽・北海道を主産地とし、甘藷は反對に南するに従つて多く産し、琉球・臺灣に殊に多く産する。

(ホ)甘蔗 高温の南西日本に栽培せられ、臺灣は近年著しく發展し、多く粗糖として内地に送り精糖の原料とする。

(ヘ)甜菜 甘蔗と反對に北海道・北西朝鮮の冷涼地に適する。

(ト)茶 暖地に適するを以て關東以西に多い。内地では静岡縣の沿岸臺地、近畿内部の丘陵、九州・關東の丘陵に多く、臺灣は北部の山地及び臺地に産する。静岡縣では綠茶に製してアメリカ合衆國・カナダへ輸出し、臺灣では烏龍茶・包種茶としてアメリカ合衆國・支那・ジャヴァに輸出され、京都府では内地向の玉露に製してゐる。

(チ)葉煙草 一般に排水と日當りのよい礫質土壤を好むが故に特殊の地域に栽培せられ、關東(秦野・太田・茂木・烏山)・四國(池田)・九州(國分・加治木)の限られた地方が著れてゐる。

(リ)根菜類 全國到る所に栽培されるが、特に大都市の近郊が盛である。

(ヌ)菜種 東海・九州・近畿に裏作として多く栽培される。

(ル)果實 梅(和歌山・埼玉・静岡)・桃(岡山・神奈川・大阪)・梨(静岡・新潟・愛媛・福島・茨城)・柿(福島・長野・新潟・廣島)・柑橘(和歌山・静岡・大阪・愛媛・廣島)・葡萄(大阪・山梨)・苹果(青森・北海道・長野)

略北緯三十六度を限界として以北は苹果、以南は柑橘の生産地域となつてゐる。

(ヲ)繭(養蠶) 桑の成長し得る地域に限られ、奥羽地方の南部から關東の北部・中部地方の中央區にかけての地帯が最も盛な地方である。縣別に之を見れば長野を第一とし愛知・群馬・埼玉が之に次ぐ。我が國は世界一の養蠶國で、生絲の産出も亦世界第一である。

關係問題

日本内地農業の特質を説明せよ。(姫路高校)

(1)農業は古來我が國産業の本幹をなして來た。

- (2) 耕地は地形の關係上割合に少く、全面積の一割五分に過ぎない。
 - (3) 農法は耕地面積が狭く、人口が稠密であるから小農法(集約農)である。
 - (4) 一戸當りの耕地は少いが農法が進歩してゐて、二毛作の行はれる所が多いから收穫率は大きい。
 - (5) 農産物は國民の主食物である米が主で、藪・麥等がこれに次ぐ。
- 我が國の主要なる農産物四つ並に特に之を多く産する府縣(府縣以外は地方)の名を挙げよ。(陸士豫)
- (一九八頁農産物並に前問題参照)

我が國に於ける米の産地を流れる河名又は地方名を記しなさい。(東京高校)

信濃川(越後平野)・筑後川(筑紫平野)・利根川(關東平野)・加古川・市川・揖保川(播磨平野)・最上川(米澤・山形)・新庄各盆地・庄内平野)・雄物川(横手盆地)・秋田平野)・木曾川(濃尾平野)・阿武隈川(阿武隈平野)・北上川(北上平野)・濁水溪(臺灣平野)・錦江(湖南平野)。

我が國の養蠶業に就いて記せ。(農卒檢)(一九九頁参照)

養蠶業の盛なる府縣名を問ふ。(音樂・選官)(一九九頁参照)

内地に於ける米・麥の主産地及びその輸入國名。(陸經)

米・麥の主産地は一九八頁参照。 輸入國 米：シヤム・佛領印度支那・ビルマ 麥：米國・カナダ・濠洲。

我が國に於ける次の産物の産出地。

麻(水産)(栃木縣)：大麻。 北海道：亞麻。 臺灣：黃麻・苧麻)

砂糖(臺灣・沖繩) 米(陸士)(一九八頁参照) 製茶(水産・小樽・高商・普文・陸士・專檢・高檢・成城高校)(一九九頁参照)

葉煙草(東商船)(一九九頁参照) 樟腦(普文)(臺灣)

二 牧 畜

基本問題

本邦の牧畜業に就き記せ。(專檢)

我が國の牧畜は從來甚だ振はなかつた。その理由は次の如くである。

- (1) 地形が狭小で牧畜に利用し得る原野が少い。
 - (2) 一般に雨量が多い。
 - (3) 宗教上の關係で獸肉を忌み嫌つた。
 - (4) 魚肉を多く用ひて來た。
 - (5) 衣服は主に綿・絹を用ひ毛織物を用ひなかつた。
- 近年は肉・乳・毛皮等の需要が増加したためと、軍馬改良の必要から次第に發達の氣運に向ひつゝある。
- (一) 牛 近畿地方以西は本邦主要の牧牛地帯で、中でも中國・九州を主とし、廣島縣を第一に兵庫・岡山・鹿兒島が之に次ぐ。朝鮮はその頭數内地を凌ぎ、内地へ移出される生牛も皮革も多い。臺灣には水牛・黄牛を産する。
 - (二) 馬 比較的廣い牧場を要する爲に人口の稀薄な北海道・奥羽並に九州地方の火山裾野に多く飼育されてゐる。
 - (三) 豚 豚は甘藷其他の殘物を飼料とするから、甘藷を多く産する臺灣・朝鮮・沖繩縣・鹿兒島縣に多く、關東地方の千葉縣にも飼養される。臺灣は内地の約三倍、我が國總頭數の半を占め、朝鮮も内地の二倍以上を有する。
 - (四) 羊 羊毛の需要は年々増加するに、はらず、國內の生産は殆ど言ふに足りない。
 - (五) 養鶏 養鶏は農家の最も普遍的な副業の一つで、愛知・千葉・鹿兒島の諸縣に多く、近來非常に發達進歩し、支那からの鶏卵の輸入を防止してゐる。

我が國の牧牛地帯を問ふ。(廣高師)(基本問題参照)

我が國で牧畜の振はない理由を問ふ。(廣高師)(基本問題参照)

三 林 業

基本問題

我が國の林業に就きて記せ。(海兵)

我が國は山地が多く、氣候温暖で雨量に富むから森林は到る所に茂り、内地の森林面積は約二千萬ヘクタールで、全面積の五割餘を占めてゐる。

主要森林地
本州……木曾(檜・ヒバ・杉)・吉野(杉)・秋田(杉)・青森(ヒバ)。
樺太……蝦夷松・椴松。
北海道……日高・北見(蝦夷松・椴松・落葉松・白楊)。
臺灣……阿里山(檜・紅檜)。
九州……南部(杉・檜)。
朝鮮……鴨綠江岸(唐檜・紅松)。

内地の年伐採額並に副産物は二億圓餘の巨額に達し、外地の伐採價格も合計一億圓に及ぶが、近時安價なアメリカ材に壓せられて年々伐採額は減少しつつある。

關係問題

我が國が世界に比類少き森林國たる理由及び其の現状を説明せよ。(臺灣高校) (基本問題参照)

四 水 産 業

基本問題

本邦の水産業に就き記述せよ。(専攻)

我が國は世界第一の水産國で、古來その漁獲物は國民の主要な動物性食料品として重要視されてゐる。

- (一) 水産發達の原因
 - (イ) 我が國は四面海を繞らし、近海は大陸棚が廣く發達してゐる。
 - (ロ) 近海は寒暖の海流に洗はれて水温・水質が一樣でないため水産物の種類と數量が多い。
 - (ハ) 食用家畜に乏しいため國民は好んで魚肉を食する風習があつた。
- (二) 漁獲物・水産製造物

- (イ) 暖流性漁獲物は鱈・鯉・鯛・鮭・鱒等で、静岡・長崎・山口・三重・神奈川・愛知・高知等の諸縣に多い。
 - (ロ) 寒流性漁獲物は鯨・鮭・鱒・明太魚等で、北海道・樺太・朝鮮東北岸等に多い。
 - (ハ) 養殖では鰻・鯉・鮎等が多く、愛知・静岡・滋賀・岐阜・茨城・長野の諸縣に盛である。其他鮭・鱒は奥羽地方に、牡蠣は廣島灣・有明海・仙臺灣、眞珠貝は志摩沿海、海苔は東京灣の名産である。
 - (ニ) 水産製造物には鰹節(静岡・鹿児島・宮城)・乾海苔(東京・愛知)・煮乾類(長崎・愛媛)・鰯(北海道・岩手)・搾粕(北海道)等がある。
- 食鹽は内地では雨量の少い瀬戸内海沿岸を主とし、別に臺灣・朝鮮・關東州では天日製鹽を行ひ、内地の不足を補つてゐる。
- (三) 漁獲高 我が國は世界第一の水産國で漁獲高も斷然多く、内地の年産額は水産製造物を併せて三億圓に近く、外地の水産高は約一億に達する。内地に於ては北海道を首位とし、静岡・長崎・東京・山口・三重・千葉・神奈川・愛知・兵庫がこれに次ぐ。
 - (四) 漁法・漁場 漁法は従來主として濱漁業であつたのが、近時沖漁業乃至遠洋漁業が行はれ益々盛になりつつある。漁場は我が沿岸は勿論、支那海・黄海・シベリヤ沿海から遠くベーリング海・南洋方面に迄及んでゐる。

關係問題

暖流性水産物名とその生産地及び漁港。(弘前高校)

暖流性水産物とその生産地は基本問題参照。

漁港……枕崎・鹿児島・長崎・戸畑・下關・須崎・串本・尾鷲・鳥羽・燒津・下田・勝浦・銚子・鹽釜等。

我が水産業の盛な地方とその種類。(普文) (基本問題参照)

我が國にて製鹽業の盛なる地方を問ふ。(水産) (基本問題並に八二・九三・一〇〇・二二四頁参照)

基本問題

田 鑛 業

本邦の主要鑛産業に就き記せ。(東高師)

我が國は地質の變化に富み、その種類が多く、鑛物は各所に産出するが、鑛床が狭いために埋藏量は比較的少く、鐵・石油の如き重要鑛物を年々多額に輸入する。石炭・銅が主なる我が國の鑛産物である。

(一)石炭 我が國鑛産物中産額最も多く、我が鑛産物總價額の六割餘に當り、世界第七位を占める。その埋藏量は約十億噸と推定され、年産額凡そ三千萬噸に及ぶ。數年前迄は輸出超過であつたが近時輸入が多くなつたことは注意すべき事である。福岡縣は内地石炭産額の六割以上を出し、北海道・福島・佐賀・長崎の諸縣が之に次ぎ、朝鮮の平壤炭田からは無煙炭を産する。

九州：筑豊炭田・三池炭田・唐津炭田・糟谷炭田・高島炭田。
朝鮮：平壤炭田(無煙炭)。
臺灣：基隆附近。

主要炭田 樺太：樺太炭田。
北海道：石狩炭田。
本州：常磐炭田・大嶺炭田(無煙炭)。

(二)石油 飛行機・自動車・軍艦・汽船・諸工業の發達は著しく石油の需要を増加したが、我が國內産の原油は僅かに需要の一割八分しか充すことが出來ず、年々多額の石油をアメリカ合衆國・蘭領東印度・ロシア等から輸入し、別にロシア領北樺太油田の探掘權を得、滿洲國撫順で油母頁岩から石油を採取してゐる。
我が國の油田は主として日本海斜面に分布し越後油田と秋田油田とが最も著れ、石狩油田・臺灣の新竹油田も有望である。

主要油田 秋田油田：製油地Ⅱ土崎。
越後油田：製油地Ⅱ新潟・新津・長岡・柏崎。
石狩油田。
臺灣油田。

(三)銅 銅は嘗て我が國が世界第二位の産出高を有してゐたが今日は第五位に下り、輸出も殆どない。

主要銅山は別子(愛媛)・足尾(栃木)・小坂(秋田)・日立(茨城)・尾去澤(秋田)・尾小屋(石川)等で、佐賀(關)・大分)・直島(香川)・日立では他から鑛石を移入して製鍊するからその産額が多い。

(四)金 金は朝鮮を第一とし、茨城縣・栃木縣・鹿兒島縣が之に次ぐ。但し朝鮮の金山は外國人の經營するものがある。

内地(製鍊した金を合して)……大分(佐賀(關)・鯛生)・茨城(日立)・鹿兒島(串木野)・山(野)・愛媛(別子)・香川(直島製鍊所)・秋田(小坂)・北見(鴻ノ舞)。
朝鮮……雲山・順安・三成・稷山。
臺灣……瑞芳・金瓜石。

(五)銀 秋田・岐阜・兵庫の各縣に銀鑛を産するが、銀の産出高の多いのは大製鍊所を有する日立(茨城)・足尾(栃木)・小坂(秋田)・別子(愛媛)・佐賀(關)・大分)であるが、産額は餘り多くない。

(六)鐵鑛 内地の産出は甚だしく、岩手縣の釜石と北海道の倶知安が稍著れてゐるが、産額は言ふに足りない。朝鮮には載寧(黄海道)・殷栗(黄海道)・价川(平安南道)等に鑛山があるが、我が製鐵原料としては不足を告げてゐるので、原鑛の大部分は支那・マレー半島から輸入し、主として八幡製鐵所で製鍊する。釜石・輪西・兼二浦でも製鐵を行ひ、滿洲國の鞍山・本溪湖の製鐵と合して鐵材の需要を自給し得るに至つてゐる。

(七)硫黄 我が國は火山國であるため世界屈指の硫黄産地で、北海道・岩手縣・福島縣等の火山地方に多く産する。
(八)右の外亞鉛・鉛・錫等をも産し、最近京都府の西北部にニッケル鑛の鑛脈が発見されたと傳へられる。

基本問題

我が國の主要鑛産と鑛業地を問ふ。(陸士) (基本問題参照)

我が國に於て次記の鑛物を産する府縣の主なるものを記せ。(通官・小樽高商・陸士)
石炭 石油 銅 金 銀(基本問題参照)

我が國で使用される石油は主として何縣から産するか、又どこから輸入されるか。(陸士) (二〇四頁参照)

我が國の鑛産中この産出額最も多いもの五種を挙げ、且つその主産地(府縣・道・廳名)三を挙げよ。(海軍・専檢)
石炭・銅・金・鐵・石油を挙げ、その主産地を記述する。(基本問題参照)

本邦の最も有名な金山三つ。(東外語) (二〇五頁参照)

我が國の主なる炭田・油田を挙げよ。(陸士) (二〇四頁参照)

本那内地に於ける石炭の産額及び主要産地を問ふ。(各海軍) (二〇四頁参照)

我が國著名の銅産地七ヶ所。(陸士) (二〇五頁参照)

六 工業

基本問題

我が國の工業に就き記せ。(各海軍)

我が國人は古來美術工藝に秀で、其の製作の見るべきものがあつたが、その規模は小で産額も少かつた。しかし今日は重要な工業國となり、世界到る所に我が工業品が進出してゐる。

(一)我が國工業發達の原因。

(イ)交通機關が發達して海の孤島であつた我が國をして四通八達の要路たらしめた。

(ロ)四圍に原料の大供給地、並に製品の大需要地を控へる。

(ハ)石炭の産が多く、水力の利用が便利である。(二)人口が多く、勞働力が安價に得られる。

(ホ)生活費が安いため生産品は廉價で供給出来る。(ヘ)國民は企業心に富む。

(二)工業地帯 我が國に於て工業の最も盛な所は京濱・阪神・名古屋・北九州の都市を中心とした地域で、これを我が國の四大工業地帯と稱する。

阪神工業地帯……紡績・綿織物・造船・化學工業。

北九州工業地帯……製鐵・セメント・硝子。

近時農村の工業化が叫ばれ、交通の便利な農村に工業が興りつゝある。

(三)主要工業品

(1)纖維工業品 我が國工業の首位を占める工業品である。

(イ)織物 纖維工業中最も盛大で、總産額は約十億圓に達し、全國到る所に行はれるが、特に中部・近畿・關東に盛である。

綿織物……愛知・大阪・兵庫等が盛大である。近時メリヤス類と共に東洋諸國から南洋・アフリカ・南アメリカ方面に盛に販路を開拓しつゝある。

絹織物及び人絹交織物……羽二重は輸出向で福井・石川、御召は京都・群馬・東京、縮緬は京都・滋賀を主とする。

毛織物及び其の交織物……愛知・兵庫・東京。

絹綿交織物……京都・愛知・新潟。

麻織物……大阪・滋賀・富山。

(ロ)綿絲紡績 織物に次ぎ盛で、原料綿は殆どアメリカ合衆國・英領印度・支那等から輸入し、阪神・名古屋・京濱を主とし、近時東海・瀬戸内海沿岸・北九州地方等に於て紡績し、内地の需要を充して尙輸出する。

(ハ)蠶絲業 從來綿絲よりも年産額は多かつたが絲價の下落に伴つて減少した。しかし世界第一位の産額を

有してゐる。長野(全額の四分の一を産)・愛知(豊橋・岡崎)・群馬(富岡)・埼玉(本庄・深谷・熊谷)・山梨(甲府)・岐(中津)等の諸縣に盛大である。

(二)レーヨン(人造絹絲) 近年我が國のレーヨン工業は急速に發達し、アメリカ合衆國に次いで世界第二位となつた。琵琶湖畔・岩國川下流・廣島・宇治等交通の便と、水利の豊富な湖や河邊に興り、原料は主として内外のパルプを用ひる。

(2)金屬製品及び機械工業 阪神・京濱・北九州・名古屋等に盛大である。

(3)煙草・肥料・精糖 共に京濱・阪神地方が盛大で、北九州が之に次ぐ。

(3)製紙 和紙は高知・愛媛・静岡・福井の諸縣に、洋紙は北海道・静岡に盛である。

(4)麥粉(神奈川・兵庫)・藥品(大阪)・染物(京都・大阪)・酒類(兵庫・京都・廣島)・醬油(千葉・香川・兵庫)・陶磁器

(愛知・岐阜・三重・京都・佐賀・石川)・メリヤス(大阪)・硝子(大阪・福岡・神奈川・東京)・造船(各軍港・神戸・大阪)

長崎・浦賀)・マチ(神戸)・花筵(岡山・廣島)等も重要な工業品である。

關係問題

工業の發達する地理的要素を本邦の工業に就いて述べよ。(佐賀高校) (基本問題参照)

我が纖維工業の中最も有力なもの五種に付き各その重要生産地を概説せよ。(大高) (二〇七頁参照)

我が國の四大工業地帯を擧げて説明せよ。(高檢・新潟高校) (二〇七頁参照)

我が國の主なる工業地帯を擧げよ。(高檢・陸幼) (二〇七頁参照)

我が國に於ける鐵鑛山及び製鐵の狀況。(陸士) (二〇五頁参照)

我が國に於ける陶器の産地五ヶ所を擧げよ。(高校)

愛知縣……瀬戸市 岐阜縣……多治見 石川縣……金澤市 京都府……京都市 佐賀縣……有田。

我が國工産物中原料を外國に仰ぐもの二種を選び、各その原料産地・内地製造の狀況を略述せよ。

(舊神戸高商)

綿絲・毛織物で、綿絲の原料即ち棉花は殆どアメリカ合衆國・英領印度・支那等から輸入して阪神・名古屋・京濱を主とし、近時東海・瀬戸内海沿岸・北九州地方等に於て紡績を行ひ、内地の需要を充して尙アジア諸地方へ輸出する。毛織物の原料の羊毛は殆ど濠洲から輸入し、名古屋市・一宮市・阪神地方で主として内地向に製織される。我が國の主な造船地。(東商船) (二〇七頁参照) 我が國の主な製鐵地。(陸士)

基本問題

日本列島の略圖を描き左記のものを多く産する各地域を描入せよ。(東高師)

馬鈴薯・小麥・鯉節・牛・絹織物 (下圖参照)

次の産物にとりて本邦の最も主要なる産地の中心都邑名又は地方名を問ふ。(松本高校)



七 雜

葉煙草・牛・馬・鐵鑛・陶磁器・綿ネル・羽二重
 葉煙草……(一九九頁参照) 牛……(二〇一頁参照) 馬……(二〇一頁参照)
 鐵鑛……(二〇五頁参照) 陶磁器……(二〇八頁参照) 綿ネル……和歌山市・今治市・徳島市
 羽二重……福井縣(福井市・大野・勝山)・石川縣(金澤市・小松・大聖寺)
自給自足の立場から米・砂糖・綿・鐵・石油の需給状態を説明せよ。 (佐賀高校)
 米……(一九八頁参照)
 砂糖……以前はジャヴァ粗糖を輸入して之を精製し消費に當ててゐたが、近來は臺灣糖業が發達したためその粗糖を移入して精製し、自給自足を完全に行つてゐる。
 綿……綿絲の原料となる綿は殆どアメリカ合衆國・英領印度・支那等からの輸入に俟つ状態で、朝鮮に多少産するがこれは言ふに足りない。
 鐵……(二〇五頁参照)
 石油……(二〇四頁参照)

第六章 交通

陸運

基本問題

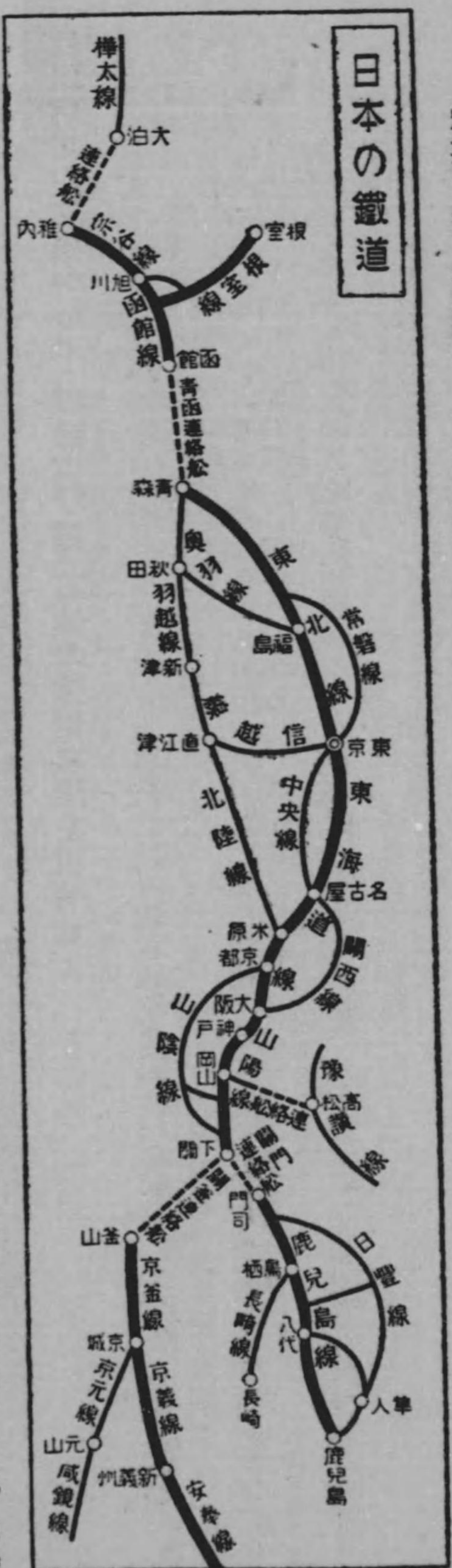
我が國の陸運に就き説明せよ。

(一)道路 往昔の道路は不完全であつたが江戸時代に著しく發達し、東海道・中山道・北陸道・奥州街道・山陽道等の利用が盛となつた。それが鐵道開通以來鐵道の利用が盛となつて衰へたが、近時自動車の出現によつて再び

その利用が盛となりつゝある。

(二)鐵道

(1)鐵道敷設の沿革 我が國の鐵道は明治五年に新橋・横濱間が開通したのを最初とし、次第に各地に普及發達して今日に至つた。
 (2)延長・密度 現今内地の鐵道延長二萬二千軒(國有・私鐵合計)、朝鮮・臺灣を合せると二萬九千軒に達する。その密度の大なるは東京を中心とした關東平野、大阪を中心とした近畿の諸平野、北九州の炭坑地域、臺灣西部の糖業の盛な地域等で、樺太・朝鮮は稀薄である。



(3)幹線 主要幹線は海岸又は縦谷に沿つて縦貫線をなすものが多い。東海道線は諸幹線の中軸をなし、山陽線・東北線と相俟つて本州の大幹線をなし、これ等は連絡船によつて朝鮮・九州・四國・北海道・樺太等と連絡

する。九州は鹿兒島線、北海道は函館・宗谷・根室各線、朝鮮は京釜線・京義線・臺灣は西部縦貫線をそれと幹線となつてゐる。

(三)電車 大都市の市内及び郊外は近年急速に電車網が發達し、殊に京濱・京阪神・名古屋地方は著しい。

我が國にて鐵道網の密なる地方について答へよ。(陸幼) (二二一頁参照)

大泊より東京を経て新義州に赴くに當つて由るべき汽船航路及び鐵道線路を記せ。(東外語) (二二一頁圖参照) 略地圖に本土縦貫線路を記入し、線名及び起點・終點をも記せ。(師二部) (二二一頁「日本の鐵道圖」参照) 次の各項に示す地點間を矢の方向へ鐵道により旅行するのに、途中經由することが出来る線路系統を明示せよ。

- (1) 網走→大阪 (2) 宮崎→奉天 (3) 長崎→京都 (4) 新潟→東京
- (1) 網走(網走線) 野付牛(石北線) 旭川(函館線) 函館(青森(奥羽線) 秋田(羽越線) 新津(信越線) 直江津(北陸線) 米原(東海道線) 大阪。

- (2) 宮崎(日豊線) 門司(京釜線) 京城(京義線) 新義州(安奉線) 奉天。
- (3) 長崎(長崎線) 鳥栖(鹿兒島線) 門司(下關(山陽線) 神戸(東海道線) 京都。
- (4) 新潟(信越線) 長岡(上越線) 高崎(高崎線) 大宮(東北線) 東京。

二 海 運

基本問題

我が國の海運業につきて述へよ。(專檢)

(一)船舶 我が國は四面海で圍まれてゐるために海運が非常に盛で、汽船が約八千隻四百萬噸、帆船が四萬八千隻百三十萬噸で世界第三位を占めてゐる。その半は大阪商船・日本郵船の所有に屬する。

(二)航路

(1)内國航路 河湖に於ける内陸航路は我が國では重要ではない。沿岸航路は非常に重要で、瀬戸内海が特に著しい。

(2)外國航路 我が國は太平洋航路と印度洋航路との接續點に近く位し、且我が國の産業・經濟が著しく進歩したため、世界の海運交通の要樞に當り、横濱・神戸・大阪の三大港を中心に名古屋・門司・若松・長崎・函館・清水・四日市等の諸港を連絡して船舶の往來がはげしい。

關係問題

亞米利加洲への航路を有せる汽船會社の名稱及びその航路の終點名を記せ。(海兵)

日本郵船會社 (1)シヤトル線 神戸—シヤトル。 (2)桑港線 香港—ロスアンゼルス。

(3)南米西岸線 香港—バルパライソ。 (4)ニューヨーク線 横濱—ニューヨーク。

大阪商船會社 (1)南米航路 横濱—ブエノスアイレス。 (2)ニューヨーク急航路 比島—ニューヨーク。一

左記諸航路の終點及びこれに従事する我が汽船會社の名をあげよ。(東外語)

歐洲航路・北米航路・印度航路・南米航路。

歐洲航路……日本郵船會社……ロンドン

シヤトル線……日本郵船會社……シヤトル。

桑港線……同上……ロスアンゼルス。

北米航路 紐約線……同上……ニューヨーク。

ニューヨーク急航線……大阪商船會社……ニューヨーク。

印度航路 日本郵船會社……ボンベイ・カルカッタ。

〔大阪商船會社……ボンベイ・カルカッタ。日本郵船會社……バルパライソ。大阪商船會社……ブエノスアイレス。〕

目 空 運

基本問題

我が國の航空業並びに主要航空路に就きて述べよ。(陸幼)

我が國の航空業は列國に比して著しく劣つてゐるが、その設備として東京(羽田)・名古屋(聚樂園)・大阪(木津川尻)・福岡(名島)の四ヶ所に國際飛行場の設あり、其他にも不時着陸場があり、東京・箱根・龜山・大阪・福岡・蔚山・京城・大連等に航空無線電信局がある。
現在定期航空の完全に行はれてゐるのは、東京・名古屋・大阪・福岡・蔚山・京城・平壤・大連間、大阪・高松・松山間、東京・下田・清水間、東京・富山間である。これ等は旅客・郵便・荷物の運搬を行ふが未だ充分利用されない。

四 通 信

基本問題

交通地理學に於ける我が國通信の現状を述べよ。(師二部)

(一)有線電信

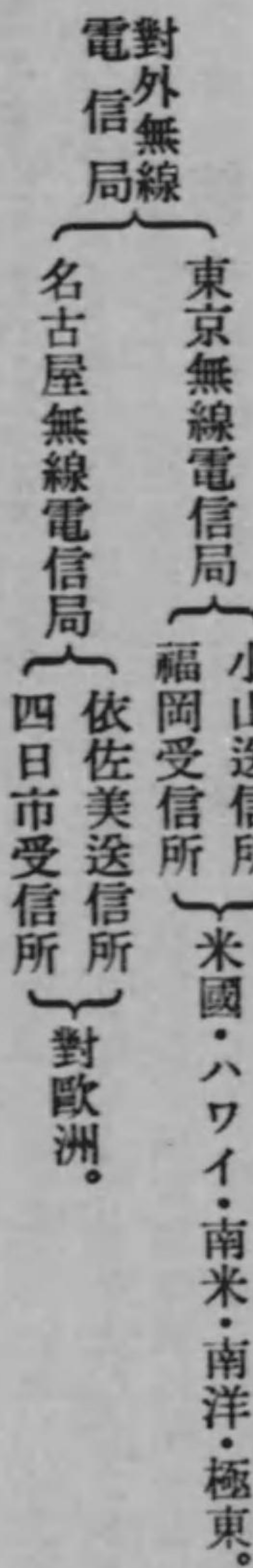
(イ)陸上電信は明治二年東京・横濱間に架設せられたのを初めとして、今

日は非常によく發達してゐる。

(ロ)海底電線は本土と附屬の主要島嶼並にアジヤ大陸間とを連ね、又は太平洋横斷線に連絡するものがある。その中對外海底電線の三大幹線は次ぎの如くである。

- a. 鎌倉・小笠原(父島)間、これよりグム經由對米線。
- b. 長崎・上海・香港・シンガポール・地中海經由對歐線。
- c. 長崎・上海又は長崎・ウラヂヴォストク線とこれに連絡してシベリヤ經由對歐陸上線。

(2)無線電信 無線電信は本土と外地間、陸上の船舶間との通信を掌る外左の如く外國との通信を掌るものがある。



(三)電話

(1)有線電話 有線電話は明治十年京濱間に通じたものを最初とし、その後の發達は稍遅いが重要都市には殆どその設備のない所はない。

(2)放送無線電話(ラヂオ) 今日重要都市にはラヂオの放送局が設けられ、娛樂・學藝・商用等に利用されつゝある。



(3) 國際無線電話 國際無線電話局(茨城縣名崎送信所 埼玉縣小室受信所)は滿洲國・南洋・歐米等との間に通話を開始した。

關係問題

本邦の對外無線電信局の所在地及びその相手國を記せ。(新潟高校) (二一五頁参照)
我が國に於ける無線電信局所在地。(廣高師・陸士・普文)
對外局は二一五頁参照。

對内局・對殖民地局・對船舶局は幌筵・大泊・稚内・落石・函館・銚子・金澤・大阪・下津井・潮岬・角島・福岡・佐世保・鹿兒島・大瀬崎・沖繩・南大東島・基隆・淡水・鳳山・臺南・釜山・蔚山・木浦・京城・清津・大連等にある。

第七章 商業

一 内國商業

基本問題

我が内國商業を概説せよ。

内國商業の二大中心地は東京と大阪とである。東京は政治上の中心として經濟・金融の整備に於て優り、東北日本にその商圏を持つ。大阪は商業地としての古い歴史と盛大な生産とに強味があり、西南日本にその商圏を持つ。東京・大阪の中間に位する名古屋も次第に獨立性を加へつゝある。この外地方には地方的商業都市があつてその地方の商業中心をなしてゐる。

二 外國貿易

我が國の外國貿易に就き説述せよ。(専檢・普文・山形高校)

(一) 外國貿易の消長 世界大戰以來我が貿易は著しき發展を遂げ、大正十四年には四十八億圓を突破して我が買

易史上に一新記録をつくつた。其後世界的不況の影響により、昭和六年には二十四億圓に降つたが、最近は物價の下落、産業の發展、爲替相場の下落等の關係で再び發展し、昭和九年には四十四億を抜いて各國不振の中に一人氣を吐いてゐる。しかし輸出入の關係は世界大戰中の數年間輸出超過を見たのみで、其後は年々輸入超過を持続し、昭和九年度に於ては入超一億四千萬圓餘を示してゐる。

主要輸出品……綿織物・生絲・人絹織物・絹織物・機械及び同部分品・鐵・藥材及び化學藥品等。

(二) 貿易品 主要輸入品……綿・羊毛・鐵・鑛油・機械及び同部分品・ゴム及び樹脂・豆類・石炭・肥料・製紙用パルプ、木材・自動車及び同部分品等。

(三) 國別輸出入

(イ) 貿易總額はアメリカ合衆國を第一位に、英領印度・關東州・滿洲國・濠洲・中華民國・蘭領印度の順位となる。

(ロ) 輸先はアメリカ合衆國・關東州・英領印度・蘭領印度・中華民國・イギリス・滿洲國の順である。

(ハ) 輸入先はアメリカ合衆國が斷然多く、英領印度が之に次ぎ、濠洲・滿洲國・中華民國・ドイツの順となる。
(四) 開港場 開港場は普通の開港場と臺灣の特別開港場及朝鮮の開市場を併せて總計六十餘を數へ、其中神戸・横濱・大阪の三港を本邦の三大貿易港と稱し、この三港にて全貿易額の八五%を占める。三港は共に世界的の大貿易港で、神戸は我國第一の貿易額を持ち輸入が多く、横濱は第二の貿易港として輸出の多いのを誇りとしてゐるが、昭和九年度には總額に於て大阪に一步を譲つた。アメリカ諸國に對する貿易港として知られる。

關係問題

我が國の外國貿易を略述し、貿易港としての横濱と神戸とを比較せよ。(外務書記・廣高師) (基本問題参照)

我が國の重要輸出入品を問ふ。(専檢・各海軍・普文) (基本問題参照)

本邦外國貿易最近の情勢を説明せよ。(姫路高校) (基本問題参照)

外國貿易上我が國第一の顧客は何國なるか、且該國の我が國より買ひ求むる重要品を挙げよ。(廣高師)

アメリカ合衆國 我が國より買ふ重要品……生絲・陶磁器・罐詰食品・玩具・植物性脂肪油・除蟲菊・絹織物等。輸出價額の最も多い物品及びその主な産地並に輸入價額の最も多い物品。(普文)

(1) 輸出價額の最も多い物品……絹織物。 (2) 絹織物の産地……愛知縣・大阪府・兵庫縣。

(3) 輸入價額の最も多い物品……綿。

我が輸出品中高位を占むる品目とその生産地。(弘前高校) (前問題参照)
本邦重要輸出品とその産地を挙げ、その輸出港の名稱を記せ。(東商船)

重要輸出品
綿織物……産地||愛知縣・大阪府・兵庫縣。
生絲……産地||長野縣・愛知縣・群馬縣・埼玉縣。
人絹織物・絹織物……産地||石川縣・福井縣。

輸出港……神戸・横濱・大阪。

本邦輸出入品の主なるもの各三種を挙げ、輸出品にあつてはその産地(府縣又は地方名)、輸入品にあつてはその輸出國名を述べよ。(専檢)

輸出品			輸入品		
品	種	産地若くは輸出國名	品	種	産地若くは輸出國名
綿織物	生絲	愛知縣・大阪府・兵庫縣	綿	羊毛	アメリカ合衆國・英領印度・エジプト・中華民國
絹織物	生絲	長野縣・愛知縣・群馬縣	羊毛	鐵	濠洲・アルゼンチン
絹織物	生絲	石川縣・福井縣	鐵	鐵	アメリカ合衆國・ドイツ・滿洲國

我が國の重要輸出品五つを挙げ、且つ各その主要産地を列挙せよ。(六高)

輸出品	主要産地	輸出品	主要産地
綿織物	愛知縣・大阪府・兵庫縣	絹織物	石川縣・福井縣
生絲	長野縣・愛知縣・群馬縣	機械及び同部分品	阪神地方・京濱地方・北九州
人絹織物	石川縣・福井縣		

我が國に於ける主要輸入品三種に就き、各其の主要相手國一或は二を挙げ、之に其の地方に於ける産出状況の簡單なる説明を附記せよ。(海經)

鐵	羊毛	綿	
		英領印度	アメリカ合衆國
アメリカ合衆國	濠洲	東南部の高温な地方に栽培され、世界第一の産額を有し品質が優良である。主としてデカン半島の黒土帯に産し、ボンベイ港から英本國並に我が國へ輸出する。	中央低地の雨量の少ない地方に羊を飼ひ、良質の羊毛を産する。産額世界第一。鐵鑛を産する事世界一であるが國內の製鐵も盛で世界一、殊に五大湖地方から大西洋岸に達する地域は盛大である。

綿製品及び羊毛の輸出・輸入の状況を述べよ。(佐賀高校)

(イ) 綿製品は我が國輸出の大宗で、英領印度・英領印度・滿洲國を始めアジア各地並に濠洲・アフリカ・南米等へ神戸・大阪・横濱の諸港から輸出する。

(ロ)羊毛は毛絲・毛織物の原料として綿に次ぐ我が國の重要輸入品で、その大部分を濠洲から輸入する。
我が國の對支・對米貿易につき述べよ。(專檢)

(一)對支貿易 昭和六年の滿洲事變以前は我が對支貿易は甚だ盛況で、我が對外貿易の第一位を占めてゐた。かかるに該事件以來支那に於ける日貨排斥のため對支貿易は著しく減少し、第六位乃至第七位に下つてゐる。我が國は綿織物・機械・精糖・紙類・鐵・水産物等を輸出して、棉花・採油用原料・麻・穀・石炭・鐵等を輸入する。
(二)對米貿易 我が對米貿易は斷然對外貿易の第一位を占めてゐるが、輸入が遙かに多く、不健全な状態にある。我が國は彼より棉花を多く買ひ、次いで鐵・鑛油・機械及び同部分品・自動車及び部分品等を輸入し、我は生絲を第一に陶磁器・罐詰詰食料品・玩具等を輸出する。

我が植民地より内地へ供給せらるゝ主要産物を植民地別に記述せよ。(廣高師)
朝鮮……米・豆類・水産物・生絲・肥料(硫安)等。
臺灣……砂糖・米・バナナ等。
樺太……紙類・木材・パルプ等。
南洋……砂糖・鯨節・燐鏽。

第八章 住民

一 都市

基本問題

我が國を形成せる民族及びその分布状態を問ふ。(陸士)

- (一)大和民族 住民の約七割を占め、主として本土に居住し、忠君愛國の念が強く、勤勉で學藝に長じ、世界の優良民族として特有の美風を有する。其の數約六千萬人。
- (二)朝鮮民族 明治四十三年、日韓併合の結果我が國の住民となり、主として朝鮮半島に住するが近時滿洲國や

内地に移住する者が少くない。其の數約二千萬人。

- (三)漢民族……主として臺灣に住み、對岸の支那より移住し來た者及び其の子孫で、臺灣島民の九割、約四百萬に餘る。
- (四)マレー族(蕃族)……臺灣の先住民で其の數約十萬、未だ蠻風を脱しない者もあるが、漢族と接觸してそれに同化したものもある。
- (五)アイヌ族……太古は廣く本土に分布してゐたらしいが、今は北海道・樺太・千島に僅か一萬六千餘に過ぎなくなつてゐる。
- (六)オロコ(オロチン)・ニクブン(ギリヤーク)・キーリン……共に樺太に住する種族で、其の數二千人に過ぎない。アジア大陸から渡來したもので文化の程度が低い。
- (七)チャモロ族・カナカ族……我が南洋委任統治地に住む文化の低い種族である。其の數約六萬。



アイヌ・オロコ・ニクブン・大和民族・朝鮮民族
カナカ・チャモロ・オロチン・ギリヤーク

日本住民の種族を問ふ。(高檢・陸士) (基本問題参照)

帝國臣民中大和民族以外の種族を問ふ。(東高師) (基本問題参照)

二 人口

基本問題

本邦人口密度の最も大なる地方と小なる地方を擧げよ。(陸士)

我が國の人口は九千八百十萬を數へ、一方料の密度は百三十五人(内地……一六九人。臺灣……一二八人。朝鮮……九五五人)で世界有数の稠密國である。

我が國の人口増加に就き述べよ。

我が國の人口の自然増加率の大なることは世界文明國中第一位にある。内地のみにも年々百萬人近くの増加を見る。新領土の開拓、海外移民の必要は實にこゝにある。

我が國人の海外移民地及び生業につきて記せ。

(神戸高商・師二部長崎高商・廣高師)

我が内地人の移民は滿洲國・ハワイ・ブラジル・米本國を始め、中華民國・南洋等に在住するけれども、その數は滿洲國現在の推定移民を六十萬として約百二十萬内外に過ぎないであらう。別に朝鮮人が滿洲國に約百萬移住してゐると推定されてゐる。

國名	移民數	生業
滿洲國	内地人卒萬(推定) 朝鮮人百萬(推定)	滿洲國獨立以來我が移民は急激に増加し、鐵道・商工業に従事する外、滿洲國の官吏として活躍しつゝある。朝鮮人は主に農業に従事してゐる。
ブラジル	約十五萬	主にサンパウロ州に於てコーヒー・米・豆類の栽培に従事してゐる。
ハワイ	約十五萬	甘蔗・パインアップル・米・コーヒー・サイザル麻等の栽培並に製糖・パインアップル罐詰に従事し、經濟上重要な地位を占めてゐる。

問題

日本人の海外發展につき左記の各項につきて答へよ。(山口高校)

A 海外貿易(1)主要な貿易國(2)貿易品)。

C 滿洲に於ける日本人の投資事業(主要なる事業の名稱・種類)。

A は二一七頁参照。B の(1)は二二二・二二三頁参照。(2)は廣島・山口・岡山・沖繩・和歌山・福岡・熊本・長崎・北海

アメリカ合衆國	約十萬	太平洋沿岸諸州に多く住し、農耕・園藝に従事する。
中華民國	約五萬五千	都市に於て商業に従事してゐる。
カナダ	約二萬	西部地方に住し、林業・水産業・農業に従事してゐる。
ペルー	約二萬	主として農業・商業に従事してゐる。
フィリピン	約二萬	マニラ麻・ココ椰子の栽培に従事してゐる。
蘭領東印度	約七千	ゴム・ココ椰子の栽培並に商業に従事してゐる。
英領マレー	約六千	
メキシコ	約六千	主として農業に従事してゐる。
アルゼンチン	約五千	主に農業に従事してゐる。

B 海外移住(1)主要なる移住國(2)移民出身縣)。

D 日本人の海外發展の結果及び影響)。

道等の諸縣である。Cは一五六頁参照。
 D(イ)移民として海外發展をなし該地の開發を行つて農業を發展せしめ、大いに貢獻してゐるのは北米合衆國・南米・ブラジル等に見る所である。

(ロ)滿洲國に於ては政治・經濟・軍事・交通等あらゆる方面の指導者として發展し、滿洲國に著しい恩惠を與へ、日滿の關係を緊密不可缺ならしめてゐる。

(ハ)我が安價・優良なる國産品の海外進出は使用者に利益を與へてゐる。
 (ニ)移民は年々三千萬圓程の送金を行つてゐる。

(ホ)人種的の偏見、經濟的・政治的發展の恐虞、不同化等の原因から日本人を排斥してゐる所が多い。アメリカ合衆國・カナダ・濠洲・南阿等。ブラジルでさへ制限を行つてゐる。

第九章 聚 落

基本問題

都市は如何なる理由のもとに發達するものなりや、我が都市に實例をとつて説明せよ。 (師二部)

都市の發達する原因は種々あるが、その原因が單獨以外種々複合してゐる場合が多い。

(一)城下町……大名の城下が發展した都市、東京・名古屋・廣島・仙臺・熊本等我が國には之に屬するものが多い。
 (二)經濟上……商工業の發達は自然人口の都市集中を伴ひ、都市を發達せしめる。東京・大阪・神戸・横濱等大都市の發展はこの種の原因が多い。

(三)政治上……政治的中心地として發達するもので、東京の如く一國の首府としての政治的中心や其他府縣廳所在地として發達の原因をなすものも多い。

- (四)交通上……鐵道・船舶等の交通の中心となつて發展するもので、門司・下關・神戸等はその例である。
- (五)宗教上……神社・佛閣の門前町として發達するもので、宇治山田市・長野市等は好例である。
- (六)鑛山採掘上……鑛物を採掘するために發達する都市で、宇部市・日立・足尾・小坂・直方市等はその例である。
- (七)軍事上……師團司令部や鎮守府の所在地として發達するもので、善通寺・吳市・横須賀市等はこれである。
- (八)學術上……學校の所在のため發展するもので、京都市・東京市・仙臺市等はこの例である。

關係問題

江戸時代の城下町で現在も政治・教育・軍事の中心都市となつてゐるものを知つてゐるだけ記せ。(師二部)

東京市・宇都宮市・仙臺市・名古屋市・金澤市・京都市・廣島市・熊本市。

八幡市・横濱市の發達した理由を説述せよ。(各高校)

八幡市……製鐵所のために發達。横濱市……商港として發達。

我が國の人口二十萬以上を有する都會(人口順)を挙げよ。(普文)

東京市(五三一萬)・大阪市(二五九萬)・京都市(一〇〇萬)・名古屋市(九六萬)・神戸市(八二萬)・横濱市(六六萬)・廣島市(二八萬)・福岡市(二四萬)・長崎市(二二萬)・函館市(二二萬)・仙臺市(二二萬)・吳市(二〇萬)。

日本内地の略圖を描き左の諸項を記入せよ。(通官)

- (イ)主なる炭田。(ロ)養蠶の最も盛な地方。(ハ)リアス式海岸。(ニ)人口二〇萬以上の都市。
- (ホ)積雪の多き地方。

外港をその一部とせる大都會及びその狀況。(弘前高校)

廣島市はその一部である宇品を外港としてゐる。(八五頁参照)

臺南市はその一部である安平港をその外港としてゐる。(一三〇頁参照)

第十章 政治

一 政體

基本問題

我が政治の概要を述べよ。

我が政體は立憲政體で、天皇御統治の下に立法・司法・行政の三部の統治機關が分立し、東洋無比の模範政治を行つてゐる。

(一)立法 立法機關たる帝國議會は貴族院と衆議院とから成り、毎年度の豫算及び法律案を審議する。

(二)行政
(1)中央政府 中央政府には内閣・各省(外務・内務・大藏・陸軍・海軍・司法)がある。各省の大臣は各省の長官であつて又内閣總理大臣と共に内閣を組織し、天皇を輔弼して政務の責に任ずる。

(2)地方行政 本土は三府四十三縣と北海道に區分し、府縣に知事、北海道に長官を置いてその地の行政を掌らしめてゐる。植民地は樺太・關東州・南洋に長官、臺灣・朝鮮に總督を置いてその地の行政を掌らしめてゐる。

(三)司法 司法權は天皇の名に於て裁判所が行ふ。
(1)内地及び樺太の裁判所には四階級があり、何れも訴訟・登記の事務を掌り、訴訟は三審制を採用してゐる。

區裁判所……地方の要地に設けられ約三百ある。
地方裁判所……各府縣並に樺太に一ヶ所宛、北海道に四ヶ所ある。
控訴院……東京・大阪・名古屋・廣島・長崎・仙臺・札幌の七ヶ所にある。
大審院……最上の裁判所で東京にある。

(ロ)朝鮮には地方法院・覆審法院(三)・高等法院(一)の三階級、三審制があり、臺灣・關東州・南洋は地方法院・高等法院の二階級がある。

問題

我が國中央政府の組織を問ふ。(東外語) (基本問題参照)

我が國地方行政の組織を問ふ。(東外語) (基本問題参照)

我が國の道・府・縣・新領土の名稱を列舉し夫々の政治的中心市名を括弧内に併記せよ。(大外語)

本邦司法機關の種別。(東外語) (基本問題参照)

控訴院の所在地。(普文) (基本問題参照)

二 國富・財政・國債

基本問題

我が國の國富・財政・國債に就き知るところを記せ。

(一)國富 我が國富は今日一〇〇億圓餘で、アメリカ合衆國の七六〇〇億圓、イギリスの二四〇〇億圓に次いで世界第三位にある。

(二)財政 國力の發展と共に著しく膨脹し、日清戰役頃の歳入出は僅かに八〇〇〇萬圓に過ぎなかつたが、最近は一〇億圓餘に及び、之に地方財政と政府の特別會計とを合すれば六〇億圓に上る。歳入の主なるものは租税・官業・鐵道收益金等である。

(三)國債 我が國債は内外債を合して約七〇億圓に上り、一人當り一〇六圓に當る。

目 外 交

基本問題

我が國より大使・公使を派遣しある國名及び首府を問ふ。(専檢・東高師・海機)
我が國は五十餘ヶ國と通商條約を締結し、互に大使・公使を交換して外交の事務を掌らしめ、要地には總領事・領事を派遣してゐる。

大 使 派 遣 國		洲 名	首 府 名
米南	米北	洲 歐	ヤジア
ブラジル	アメリカ合衆國	ソイドベフイ ヴィエッタ エトリ	ト中華民 ル國
リオデジャネイロ	ワシントン	モロベ ス コ	ア南新 ン ゴ
		パ ル リ セ ル	ラ京京

公 使 派 遣 國		洲 名	首 府 名
米北	洲 歐	ヤジア	
ベ ル マ	ポ ス ト ガ ル ド ン	イ ラ ン ム	イ ス タ ム ブ ル ク
メ キシ コ	オ ス ト リ ア リ ン	ウ エ ニ ン	テ ヘ ラ ン ク
カ メ ロ ン	ス ラ ヴ イ チ ン	マ ラ ン デ	カ バ ン コ ラ ン ク
メ キシ コ	ア ベ リ ア リ ン	ウ イ テ ソ ル	ト ク ホ ル ム
メ キシ コ	リ マ ム ン ダ ン	ア リ ソ ル	カ バ ン コ ラ ン ク

我が國の加盟し居る國際協同事業を擧げよ。

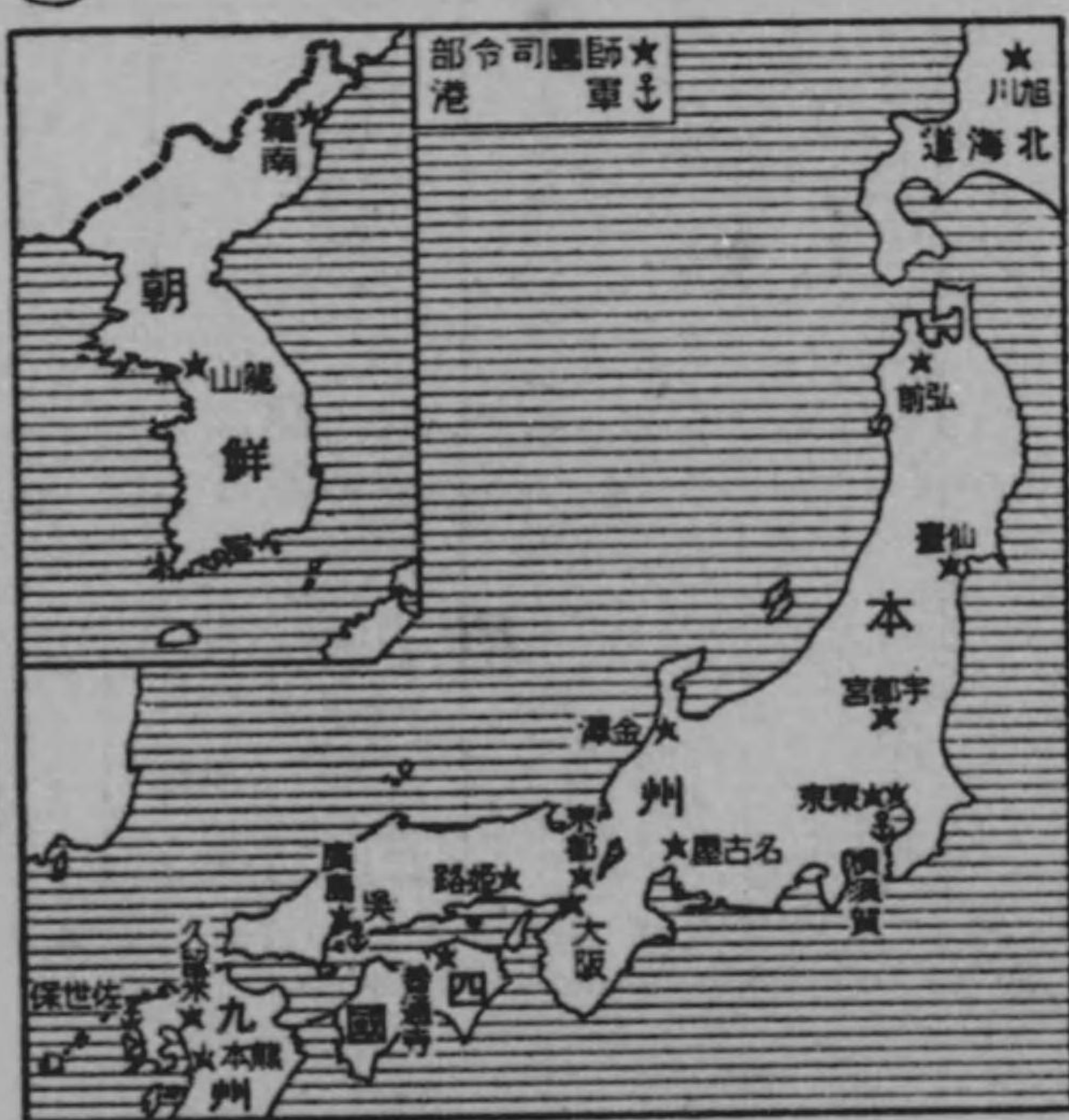
我が國は國際間の交際を親密にし、世界の平和を確保せんがために國際事業に加盟し、軍備縮小會議にも應じてゐる。
赤十字條約・萬國郵便電信無線電信聯合・萬國農事協會・萬國工業權保護同盟・メートル條約・國際航空條約。

四 軍 備

我が國陸軍の配備並びに師團司令部の所在地を問ふ。

(各高文校)

近衛師團—東京	第五師團—廣島	第十師團—姫路	第十九師團—龍山
第一師團—東京	第六師團—熊本	第十一師團—善通寺	第二十師團—龍山
第二師團—仙臺	第七師團—旭川	第十二師團—久留米	
第三師團—名古屋	第八師團—弘前	第十四師團—宇都宮	
第四師團—大阪	第九師團—金澤	第十六師團—京都	



我が國は内地・朝鮮を十七師管に分け、各師管に一師團を置きその要塞地には重砲兵を、要地には飛行聯隊を備へる。別に皇居守護のために近衛師團を置く。

臺灣・關東洲・支那には守備隊があり、滿洲國には別に本土の兵を交代に派遣し滿洲國軍と協力してこの同盟國の治安に當つてゐる。我が陸軍平時の兵力は約二十一萬で他の強國と比して多い方でない。

我が海軍の配備並びに軍港・要港の所在地を記せ。 (各海軍・各高校)

我が海軍の艦艇は二七〇隻餘、一五〇萬噸以上に達し世界第三位にある。

我が領海を三海軍區に分け、鎮守府及び要港部を各所に置き、要地に航空隊を設けてゐる。

海軍區	軍港及び鎮守府	要港	海軍區	軍港及び鎮守府	要港
第一	横須賀(神奈川縣)	大湊(青森縣)	第三	佐世保(長崎縣)	鎮海(慶尚南道) 馬公(臺灣澎湖廳)
第二	吳(廣島縣)	舞鶴(京都府)			旅順(關東州)

關係問題

陸海軍の飛行場を記せ。

(一)陸軍 飛行隊……岐阜・八日市・太刀洗・立川・平壤・濱松・屏東・會寧。

飛行學校……所澤・熊谷・下志津・濱松・明野。

(二)海軍航空隊……大湊・阿見・追濱・館山北條・大村・佐伯・旅順。

本邦の略圖を描いて我が國の軍港・要港の位置及び名稱を記入せよ。(東商船・海機) (基本問題参照)

次の師團司令部の所在地を記せ。(陸士) 4・8・11・10・12・9・14・7・20・2 (基本問題参照)

第十一章 文 教

基本問題

我が國教育の概況を述べよ。

我が教育は明治五年學制頒布以來急に普及し、今日は教育・學藝の進歩に於て東洋第一位を占め、敢て歐米先進國に比して劣る所はない様になつた。

(一)小學教育……よく普及してゐること歐米諸國に劣らず、義務教育制を採用し、内地就學率九九%以上に達してゐる。新領土の普通教育も次第に整ひ、全國の小學校數二萬五千以上に達する。

(二)中等教育……中學校・高等女學校・各實業學校もよく發達し、その數二千六百校以上に達してゐる。

(三)高等教育……高等專門教育機關も完備し、沖繩・樺太の外高等程度の學校を見ない地方はない。東京市及びその附近、次いで京阪神地方に多い。

(四)學校以外の機關……天文臺・氣象臺・植物園・動物園・博物館等が各地に設けられてゐる。

三 社

基本問題

神社の社格を問ふ。

我が國民は古來敬神の念が篤く、皇室の祖宗・國家の功臣・氏族祖先などを神社に祀る美風がある。

神社には官幣社・國幣社・別格官幣社・府縣社・郷社・村社・無格社の別があり、神宮はこの格外に置いてある。

伊勢神宮……皇室の宗廟で國民の尊敬が最も篤い。
官幣社……主として皇統の祖神・歴代の天皇、又は皇族の方々を祀り奉る。大社・中社・小社に分れる。八八社。
國幣社……國土經營の功勞者を祀り、大社・中社・小社の三種に分れる。八五社。
別格官幣社……國家に功績のある臣民を祀る。二五社。
府縣社・村社・無格社。

左記神社の所在・府縣名並に市名。(各海軍)

伊勢神宮 香取神宮 橿原神宮 靖國神社

熱田神宮 鹿島神宮 出雲大社

伊勢神宮(三重縣宇治山田市) 熱田神宮(愛知縣名古屋市) 香取神宮(千葉縣) 鹿島神宮(茨城縣)

橿原神宮(奈良縣) 出雲大社(島根縣) 靖國神社(東京府東京市)

左の神社の所在と祭神を問ふ。(普文)

湊川神社 護王神社

談山神社

湊川神社(兵庫縣神戸市、楠正成)

談山神社(奈良縣多武峰、藤原鎌足)

護王神社(京都府京都市、和氣清麻呂・和氣廣蟲)

三 宗 教

基本問題

我が國に行はれる宗教に就き記せ。

我が國には神道・佛教・キリスト教の三種が行はれてゐる。

(一)神道 我が國固有の神道に基き宗教の形式をなしてゐるもので十三派に分れてゐる。

神道教・神宮教・大社教・黒住教・金光教・扶桑教・大成教・實行教・修成教・神習教・御嶽教・禊教・天理教で、信徒合計約二千萬人と稱せられる。

(二)佛教 傳來が古く最もよく弘布してゐる宗教で、一二宗五八派に分れ、四〇〇〇萬人の信徒を有する。その中眞宗は最も多く、北陸・近畿・中國・九州に互る。曹洞宗は東北・本州中部に、眞言宗は近畿・關東・四國に多く日蓮宗及び天台宗は關東に、淨土宗と臨濟宗とは近畿・東海・中國・九州に行はれる。

(三)キリスト教 西洋文明の輸入と共に弘まつたもので、今は大都會・開港場等の附近に行はれる。

第五編 結論

基本問題

我が國を地理的に見て惠まれた點、憂ふべき點を列舉せよ。(師二部)

- (一) 我が國が地理的に見て惠まれた點。
- (1) 上に萬世一系の天皇を戴き、世界無比の國體を有する。
- (2) 下國民は忠君愛國の念強く進取の氣象に富む。
- (3) 我が國は太平洋に於ける交通上の要衝に當り、世界貿易の重點である。
- (4) 氣候・風土が居住に適し、地味肥え、天産も相當豊である。
- (5) 石炭・水力と勞力の豊富なことは工業伸展に有利である。
- (6) 東洋文化と泰西文化の精粹を攝取して文化を向上せしめた。
- (7) 島國であるから軍事的に護るに都合がよい。
- (二) 我が國の憂ふべき點。
- (1) 我が國は人口の過多な上に毎年百萬近い増加があり、しかも到る所邦人を排斥して入國を妨げてゐる。
- (2) 植民地が多くない。
- (3) 産業上棉花・羊毛・鐵鑛等の重要原料が貧弱である。
- (4) 地震・颱風の害を時々蒙る。

問題と考察を
主眼とせる 日本地理 終

考察日地

昭和十年十二月十日 印刷
昭和十年十二月十五日 發行

問題と考察
を主眼とせる

日本地理
定價 金七十錢

不許

三省堂編輯所

代表者 龜井寅雄

東京市神田區神保町一丁目一番地

株式會社 三省堂

代表者 龜井寅雄

東京市蒲田區出雲町一〇一番地

株式會社 三省堂蒲田工場

代表者 龜井豐治

複製

印刷者

發行者

著作者

發行所

東京市神田區神保町一丁目一番地
振替 東京三三五五五
大阪市西區阿波座下通二丁目六番地
振替 大阪八一三〇〇

株式會社 三省堂
株式會社 三省堂大阪支店

【本製田蒲】

要を盡したし新参考書

三省堂編輯所編
問題と考察
を主眼とせる

物理

三六判・クロス装・二三八頁

定價 七十錢 (送料六錢)

要を得て簡潔、基本問題と關係問題の凡ては本書に盡さる。更に重要な事項、着眼點、誤り易い事項等まで指摘して頗る懇切!

三省堂編輯所編

問題と考察
を主眼とせる

化學

三六判・クロス装・二五五頁

定價 七十錢 (送料六錢)

特に問題の練習を主として短期間に秩序正しく化學を整理するには問題の作り方、考察の仕方を考究して説かれた本書が最適である。

三省堂發行

M-107

新機軸を出したし参考書

三省堂編輯所編
問題と考察
を主眼とせる

日本地理

三六判・クロス装・二三〇頁

定價 七十錢 (送料六錢)

問題と解答の形に於て日本地理を整理し、一見してその要點と急所を把握出来るやう工夫した極めて斬新且つ能率的な参考書である。

三省堂編輯所編

問題と考察
を主眼とせる

世界地理

三六判・クロス装・二三〇頁

定價 七十錢 (送料六錢)

問題としての、又解答としての立場に於て、凡ゆる角度から世界地理を考察してゐるから、理解と記憶には最も快適な参考書と信ずる。

三省堂發行

M-108

書考參る來出頼信も最

三省堂編輯所編

問題と考察を
主眼とせる **日本歴史**

三六判・クロース装・二二〇頁

定價 七十錢 (送料六錢)

最も重要な事項を基本問題とし、之に關聯せる問題を關係問題として國史のエッセンスを全部網羅、出題傾向及び豫想の資料とした。

三省堂編輯所編

受驗分類 **日本歴史**

四六判・クロース装・三一〇頁

定價 一〇〇錢 (送料六錢)

全ての史實を政治・外交・文化等の項目別に分類して史實と史實との密接な關係を明かにし、國史の綜合・整理に便ならしめた新著。

行發堂省三

M-75

！表年るな秀優も最

三省堂編輯所編

範模最新 **世界年表**

文學博士 喜田貞吉 閱

西洋史擔任 森田鏡三 郎

日本史擔任 妻木忠太

三六判・五八〇頁
クロース装

定價 一〇五十錢
送料十錢

一目の下に世界の史實を對照會得出来る年表として好評絶讃！

大森金五郎・高橋昇造 共著

補增最新 **日本歴史年表**

三六判・クロース装・七三四頁

定價 一〇九十錢 送料 十二錢

最高完璧、驚異的詳密且つ完備せる年表である。本文四百卅餘頁、附錄諸表百餘頁、總索引百七十餘頁。全國民舉つて備ふべき一大寶典！

行發堂省三

M-74

受驗用の滿洲國參考書

受驗學習 標準滿洲國地理

諏訪徳太郎著

附・新設省界明示滿洲國詳圖

菊判・背クロス装・一五二頁

定價 八十錢

送料六錢

新設省界を初め最新事實と斬新な挿畫を滿載し、重要問題とその解説の豊富・詳細は本書の一大特色をなす。八色刷精密地圖八葉附。

三省堂編輯所編

最新版

滿洲帝國地理

菊判・美装・五二頁

定價 十五錢

送料二錢

小冊ではあるが各般の知識は一通り得られるから初等學生の學習には好適と信ず。殊に内容の簡潔明快は受驗準備に便利重寶である。

三省堂發行

347
703

